

事例  
研究高齢者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

応募資格は60歳以上  
シニア限定の職種

株式会社萌福祉サービスには、正社員・パートあわせて1200名の従業員がいる。そのうち「60歳以上の従業員が半分を占めるのではないかと株式会社MOEホールディングス取締役 社長室長兼経営企画部長の大井拓人氏は話す。株式会社MOEホールディングスは道内に84の介護事業所を運営する。その主要子会社が株式会社萌福祉サービスだ。

同社には「応募資格は60歳以上」というシニア限定の職種がある。なぜ、そのような特殊な職種を設けたのか、大井氏に伺った。「同じ時代を生きてきたシニア世代に支援をお任せすることで、利用者様の気持ちに寄り添った心の通ったサービスを提供できると判断した」と話す。

60歳以上限定のシニア職種には以下の5種類がある。

- ①シニアライフサポーター、②シニアリハビリサポーター、③シニアレクリエーションサポーター、④シニアエデュケーションディレクター、⑤シニアコンシェルジュ。



写真左、中)MOEグループで働くシニアの方たち(イメージ)。

写真右)株式会社MOEホールディングス外観。

同社の目指しているゴールは、「介護を必要としない」社会。すべてのシニアがいきいきと働き、健康寿命を延ばし、介護されることなく最期を迎えられる社会。

シニアが「いきいきと働き、生きる」場所を創る  
株式会社 MOEホールディングス

シニア限定の職種だけでも、これだけ細分化されていることには、どのような意味があるのだろうか。大井氏は言う。「マルチタスクではなく、シングルタスクを受け持ってもらえることが狙いです。そうすることでご自身の得意分野に特化して働いていただくことができる。それによって、働く方がやりがいや生きがいを感じていただきたいのです」。

「シニア業務認定制度」の  
役割と目的

同社には、これから働こうとするシニアが抱えるであろう不安を払しょくするために、業務に入る前に必要な知識を身につけてもらう「シニア業務認定制度」が設けられている。この研修メニューを受講することで、シニアはより自信をもっていきいきと働くことができる。また施設利用者は、より年齢の近い方に支援してもらえることで、満足度の高いサービスを受けることができるというわけだ。

この制度の目的は、施設利用者、同社の専門職職員とシニ



## 会社概要

株式会社  
MOEホールディングス

代表者 代表取締役社長兼CEO 水戸康智

設立 2009年10月

事業内容 事業持株会社

資本金 9,148,500円

本社 札幌市西区山の手1条1丁目3番地 MOE Bldg.2F

## 主要子会社

名称 株式会社 萌福祉サービス

代表者 代表取締役社長 水戸康智

設立日 1999年4月22日

資本金 1,000万円

社員数 2021年4月現在・正社員・パート含め約1,200名



取締役 社長室長兼  
経営企画部長 大井拓人 氏  
大井氏は介護の仕事は大きく分けて3つあるという。「①プロしかできない仕事、②食事・お風呂など日常を支援するルーティンの仕事、③利用者に寄り添い、傾聴・会話によるコーチングの仕事。②と③はシニアに適任の仕事と思う」

ア就業者、そして同社グループが、お互いに支えあう関係性を構築することなのだ。これは新しいコミュニティの創設ともいえるのかもしれない。

## 日本版CCRCの実現に向けて

「話が少し大きくなりますが、CCRCをご存じですか」と大井氏。「webで調べればすぐにできますよ」。

CCRCとはContinuing Care Retirement Communityの略。アメリカで創られた、高齢者生活共同体を言い、現役をリタイアしたシニアが、元気なうちに入居し、介護が必要になっても引っ越すことなく、同じ環境で最期まで、いきいきと暮らすことのできる施設のことだ。MOEグループはこの高齢者のコミュニティを日本にも作ろうとしているのだ。住民同士の交流も盛んにおこなわれ、豊かなシニアライフを過ごすことのできるコミュニティが本当に実現できたらこれからはますます進むわが国の高齢化社会における、ひとつのモデルケースとして示すことができるのではないだろうか。

同社にとってのシニア就業者は、同社の施設周辺に暮らす「地域高齢者」でもある。つまり地域高齢者と施設利用者の交流を推進することで、日本版CCRCの構築・実現に向けて、少しずつではあるが取り組んでいるのだ。シニア就業者は、いうまでもなく重要な働き手であるが、同時に高齢者生活共同体の一員候補でもある。

同社の壮大なビジョンの一日も早い実現を、願わずにはいられない。

### 社労士からひとこと!

#### 同世代だから提供できるサービスに納得



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

本文にある通り「応募資格が60歳以上」というシニア限定の枠があります。ニュース等で見る介護のイメージは、孫ほどの年齢差のある職員が子供に話しかけるかのように、お年寄りに接しているものが多いです。

しかし実際、認知症の祖母を見た私の感想は全く違います。歳をとると子供に

戻るとよく言われますが、祖母の場合は「プライド」が強烈に残っていて、デリケートな接し方が必要です。また昔話は本当によく弾みます。お茶を飲みながらの何気ない日常会話は、昔の映画スターの話など、年代が近い方が弾むことでしょう。その点に目をつけて、採用活動が行われている点は素晴らしいと思います。

## 高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

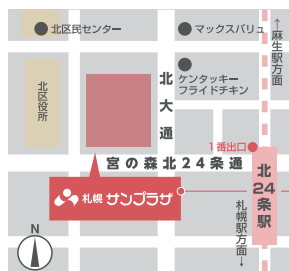
求人開拓室

☎ 011-708-7865

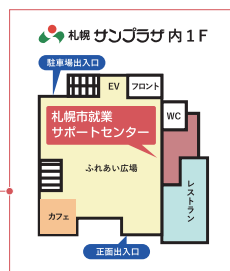
☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市  
02-H03-21-1723  
R3-2-1144

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。